

リニューアル記念企画展 品川を彩る名品たち—品川歴史館浮世絵コレクション—

期間	令和6年4月3日(水)～6月30日(日) ※68日間				
会場	品川歴史館 1階 特別展示室				
担当者	森下恵那(当館学芸員)				
有料観覧者	一般 3,156	小中 124	一般団体 76	小中団体 0	有料計 3,356
無料観覧者	区関係 48	区内小中 360	招待 1,027	高齢者 1,698	無料計 3,133
	総計 6,489				

※4月3日(水)～4月18日(木)に実施した内覧会の日数・観覧者数を含む。

【開催趣旨】

江戸時代以前から開かれ、徳川将軍ゆかりの地でもあり東海道第一の宿場として栄えた品川は、喜多川歌麿や歌川広重、葛飾北斎など、多数の有名絵師によって描かれた。そのジャンルは名所絵、美人画、役者絵など、さまざまな面から品川の様子がとらえられている。本展示では、「東海道品川宿」、「歌舞伎」、「名所」、「海辺の暮らし」、「変化する品川」という5つの項目に分けて江戸時代中期～明治時代初期の品川を描いた錦絵を紹介した。



【展示概要】

- 1 東海道品川宿
- 2 品川と歌舞伎
- 3 品川の名所とその周辺
- 4 海辺の暮らし
- 5 変化する品川

トピック 江戸の名所と品川の桜

【記念イベント】

イベント名	日時	講師	会場	参加人数
学芸員による展示解説	① 6月16日(日) ② 6月29日(土) 「品川を彩る名品たち—品川歴史館浮世絵コレクション—後期展示作品紹介」 時間はいずれも 13:30～14:30	森下恵那 (当館学芸員)	講堂	①16名 ②39名 延べ55名